



創業支援室の利用

県庁の創業支援室を拠点に顧客密着型 業務用ソフト・OA機器販売会社を起業

全国展開するパソコンソフトメーカーの秋田営業所長を経験。より地域に密着した顧客本位の事業展開を志して独立起業した。起業と同時に県庁第二庁舎の創業支援室に入居し、経営を盤石なものにする足場固めをしている。

株式会社アルテミオシステム

〒010-8572
秋田県秋田市山王3丁目1-1 県庁第二庁舎3階
FreeDial. 0120-85-9672
Tel. 018-853-1019 Fax. 018-853-1029
<http://www.artemio.jp/>

創業支援室を拠点に地域密着の事業展開

株式会社アルテミオシステムの佐藤大樹社長は、起業前は業務用システムを開発するソフトメーカーに勤務して秋田営業所の所長も務めた。その時の経験から、秋田の中小企業で効率的なICT利活用を促進する為には徹底的なアフターサポートを通じて利用方法を伝授する顧客本意のシステム販売会社が必要だということから、昨年4月に起業し秋田県庁第二庁舎の創業支援室に入居した。

環境の改善、ネットワーク構築、WEB制作など、およそICT関連であれば、何でも対応できると自負している。「目指すは“町の電気屋さん”のパソコン版みたいな存在。システム担当者がいない企業の為に、弊社が担当者になり変わり問題解決。電話一本で、どんな小さなことでも快く引き受け、お客様の要望や困っていることに対応していきたいと考えています」(佐藤大樹社長)

顧客本位の町の電気屋さんの様な存在に

同社の事業の軸は、自動車整備工場向け顧客管理ソフトの販売と保守。自動車整備工場のオーナーは年配者が多く、ソフトの操作が不得手な人も少なくないので、販売後は定期的に顧客を訪問し操作方法を説明する丁寧なアフターサポートを心がけている。

「顧客側でも高額なソフトやパソコンをなんとかか活用したいと考えているが、単独ではなかなか上手に使いこなせない実情がある。なぜなら使い方を教えてくれる人が不在な為だった。ここに顧客のニーズと弊社の顧客密着ビジネスの勝算があった」(相馬部長)

ソフトの販売保守サポートのみならず、パソコン内

起業からの3年間で経営を盤石なものに

顧客管理ソフトと共に力を入れているのがウェブ制作部門。こちら単に作って納品するだけではなく、発注側が自分で自由にアレンジできるホームページを提案したり、顧客の予算に柔軟に対応するなど、顧客本位を貫いている。受注は順調で、今は待ってもらっているお客さんもいるとか。

創業支援室に入居していただけるのは最長3年で、その半分ほどが経過したが、県庁の創業支援室をオフィスにしていることで顧客の心証も良く、この入居期間中に経営を一層盤石なものにしていきたいと、佐藤社長は語る。



- 1 県庁第二庁舎の創業支援室をオフィスにしている。
- 2 業務用ソフトメーカーを退職し秋田で起業した佐藤大樹社長。
- 3 ウェブ制作事業にも力を入れている。その作例。
- 4 スタッフの相馬大志さんも社長の前職時代からの同志。

事業の解説

創業支援室の利用

創業・起業家や新事業分野進出を目指す意欲的な企業に、事務スペースを提供します。インキュベーション・マネジャー等への日常的な経営相談が可能です。

【制度の利用・お問い合わせについて】

あきた企業活性化センター／企画・総合相談担当まで。

(ICT=Information and Communication Technologyの略。「情報通信技術」と訳される)